

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果（中学校）

敦賀市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	気比	中学校	本校の体力向上の取組みについて	規律ある集団行動を基本に、大きな発声のアップや補強運動で体力向上を意識させた保健体育の授業を展開する。	体力テストまでにアップや補強運動の効果が出ていないことも考えられ、数値の向上はさほど見られなかった。しかし、生徒会体育委員会が「声出しキャンペーン」を行い、各クラスで競い合うことで、大きな発声の意識付けを生徒自ら行うことができた。
2	角鹿	中学校	本校の体力向上の取組みについて	授業開始時にランニング・体操・補強運動・ストレッチを継続実施し、3分間走や縄跳び、ボールゲームを取り入れて基礎体力の向上を図った。	継続した運動により、基礎体力が向上し、体幹が強化された。体力向上への意識が高まり、最後まで運動に取り組もうとする姿や、意欲的に活動する生徒が増加した。
3	松陵	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	学校行事として「リレー大会」「ダンス発表会」を開催。	保護者の観戦もあり、走ることやダンスをすることに對して、意欲的に取り組む機運が高まった。
4	東浦	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	小中併設の特徴を活かし、小学生と中学生が同時に運動する場を設定することで、年齢を超えた運動の仲間の輪が広がり、誰もが楽しみながら運動に取り組むことができる機会を与える。	月に2回小学生と中学生が「一緒に楽しむ」ことを目的とした運動を行う機会を設定したことで、運動に苦手意識がある児童生徒も積極的に参加する姿が見られた。また、中学生が小学生に積極的に教えるなど、楽しむだけでなく、自らが教えながら学ぶ姿勢も多く見られた。
5	栗野	中学校	本校の体力向上の取組みについて	準備運動やドリル形式の動きづくり、補強運動を習慣化し、筋力・瞬発力など基礎体力の向上や自主性を養い、体力向上を実感させる。	体力テストの反復横跳びの数値が高く、全国平均を上回っている。 ・3年男子 57.44 ・3年女子 46.69 ・2年男子 57.11 ・2年女子 49.08 ・1年男子 53.88 ・1年女子 52.09